

## 富津市社会教育委員会議録

1 会議の名称	平成22年度第3回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成23年2月10日 午後 2時00分～午後 2時55分
3 開催場所	富津市役所第3委員会室
4 審議等事項	(1) 生涯学習推進計画について
5 出席者名	(委員) 黒岩功充、三富和彦、木村忍、小曾根勝己、柳川通雄、渡邊秀夫、十川敬三、佐久間勇、大野裕二、綾部雅喜 (事務局) 渡辺教育長、吉原教育部長、山中教育部次長、進藤生涯学習課主幹、當眞主査、小川主事、羽山非常勤一般職
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第3回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>(本日の会議が、委員定数15名のうち、出席委員10名、欠席委員5名のため、会議が成立することを説明。平成22年度第3回富津市社会教育委員会議の開会を宣言)</p> <p>小泉委員長は、1月11日に手術をし、現在月1回の通院をしているが、まだ抜糸ができていないため、本日の会議を欠席させていただくとの届出があった。</p> <p>については、社会教育委員会議運営規則第4条の規定に基づき、黒岩副委員長に会議の進行をお願いしたい。</p>
<p>黒岩副委員長</p>	<p>(黒岩副委員長挨拶)</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>(渡辺教育長挨拶)</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>(会議の公開についての説明)</p> <p>これより、議事の進行は黒岩副委員長をお願いしたい。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>議題に入る前に、会議録署名人についてだが、私の指名でよろしいか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>それでは、会議録署名人は、私と渡邊秀夫委員でよろしいか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>会議録署名人は私と渡邊委員に決定する。</p> <p>会議次第の4報告に入る。(1)第11回富津市生涯学習推進大会の結果について、事務局から報告をお願いしたい。</p>

<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>それでは、(1) 第11回富津市生涯学習推進大会の結果について御報告する。委員の皆さんには、2月6日の大会に御出席、御協力をいただきありがとうございました。</p> <p>参加者数は延べ428名、受付人数は330名で、その内訳は、各団体が76名、教室・サークルが56名、来賓ならびに招待者が16名、一般参加者については、富津地区88名、大佐和地区60名、天羽地区21名、市外が13名であった。その他に役員等の出席があった。</p> <p>アンケートの配布枚数は330枚、アンケートの回収枚数は190枚で、回収率は57.6パーセントである。前回の大会と比べると、参加者数は622名であったので、194名の減少となり、また、前回のアンケートの回収率は52.1パーセントであった。</p> <p>なお、ステージ上の「市制施行40周年記念事業」の看板と講演の演題の垂れ幕については、大堀在住で君津商業高校教諭の三田和広先生に御協力いただき、作成したので御報告する。</p> <p>以上で説明を終わる。委員の皆さんから御意見、感想をいただければと思う。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>続いて、委員から意見をお願いしたいが、どうか。 綾部委員からお願いしたい。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>御本人もおっしゃっていたが、参加者がもう少しいたら良かったと思う。マイクのことも言っていたが、それなら自分で持ってきてよかったのではないかと思った。</p> <p>また、表彰が終わった子どもたちと保護者の方たちが帰ってしまったのが寂しかった。</p> <p>細かいことを言うと、手話通訳者が演台の花の影に隠れてしまい、右側の客席の人たちは見えなかったのではないかと思った。</p> <p>内容的には、中学生や高校生など進路に迷っている人たちや、希望を失っている人たちに聞いてもらいたい内容だった。平均年齢が60歳以上ではないかという話があったが、若い人たちが少なかったのは非常に残念であった。</p>

大野委員	申し訳ないが、当日は所用で参加できなかった。
佐久間委員	<p>午前中の生涯学習推進協議会会議に出席したが、その場で出た話は、今綾部委員がおっしゃった内容とほとんど同じだった。</p> <p>花岡先生のトークや歌は非常によかったが、本人も言っていたように歌用のマイクではないので、それが歌用のマイクであればと思った。アンケートの44番で市外の方も「歌用のマイクで歌を聴けたらもっとよかったな、と思います」と書いている。</p> <p>私も、花岡優平さんが来るということで、ユーチューブで見たら、本人が歌っているシーンがあり、甘い声で歌っていた。だから、確かに歌用のマイクで歌ったら違っただろうと思った。</p> <p>前半の君津商業高校の吹奏楽の演奏が非常によかったことと、つなぎのようにして最後に「愛のままで…」を演奏するという演出があったりして非常に感動した。聞いてよかったのはもちろんだが、動員をもっと増やす方法はなかったのか。子どもたちももっと参加してもよかったし、高校生がオープニングをやるのだから、できれば同じ高校生ももっと参加してもらいたかったと思った。</p> <p>ただ、行政側もいろいろと広報誌を使ったり、広報車を出したり、あの手この手でやっていた。あとは、関心を持ってもらうには知名度もあるのではないかと思ったが、知名度以上に非常によいお話を聞くことができ、素晴らしい大会だったと思う。</p>
十川委員	消防委員の視察と重なったため、出席できなかった。次の大会を楽しみにしたい。
渡邊委員	大変申し訳ないが、私も地元の総会があって出席できなかった。
木村委員	私は、午前中の君津商業高校と花岡さんのリハーサルから、調整室で参加させていただいた。花岡さんについては、会場の設備の範囲内で講演を行うということで、マイクの用意ができてなかったのは大変失礼だったと思う。その中でも、何とか花岡さんのトークでカバーしていただいたと思う。

<p>三富委員</p>	<p>参加者の人数については、私も担当している「学びの門」等の事業でいろいろ広報活動をしているが、なかなか富津の市民の方に関心を深めていただいて、参加していただくことは難しい。今後検討して、よい方法を考えていかなければならないと私も思った。</p> <p>綾部委員、佐久間委員からお話があったように、非常によい講演と君津商業高校の吹奏楽部のすばらしい演出もあり、アンケートにもあるように、参加された皆さんは満足して帰られたのではないかと思う。</p> <p>ただ、中学校では、部活動等の練習試合や大会を組んでいるので、その辺りが大変申し訳ないと思う。学校としても、子どもたちにいろいろな話を聞かせてあげたいと考えているので、もう少し広報活動をやった方がよかっただろうかと反省している。</p>
<p>小曽根委員</p>	<p>私はこちらの大会には参加できず、大変申し訳なかった。動員が難しいという意見が出ているが、私の子どもが通っている保育園でも、この生涯学習推進大会のチラシが配られていたようで、かなり広い範囲で広報をしていることは知っていた。しかし、実際集まった人数が少なかったということで、非常に残念である。本当にいかに人を集めるかが、非常に難しい問題だと感じた。</p>
<p>柳川委員</p>	<p>先ほどから、各委員から、非常にすばらしい内容だったという意見があったが、私もそう感じた。</p> <p>動員については、アンケート結果を分析して今後どのようにしたらよいかを考えていかなければならない。アンケートの数字を見ると、富津地区が一番多く、大佐和地区が次で、天羽地区が一番少なく、市外が13人であるので、交通の便の問題もあるのではないかと思う。そういったことから分析して、どのように動員したらよいかを考えていかなければならないと思う。せっかく、お金を払って講師を頼んで、これだけすばらしいトーク&amp;ライブが行われたのだから、皆さんに聞いてほしいと思う。</p> <p>また、広報の方法については、私にも小学生と中学生の子どもがいるが、小学校では2回ほどチラシが回ってきた。それでもなか</p>

	<p>なか来てもらえないのは、学校からの配布物は、子どもはただ親に渡すだけなので、親はそのまま置きっぱなしにしてしまうことがあるためではないかと思う。ポスターについても、作成して配布したそうだが、私は実は目にしていない。もっと、一般の人が目につくところに配布して、広報しなければならないと思う。</p> <p>今後、第12回、第13回と続いていくと思うが、講師もせっかく引き受けて来てくださるのだから、開催する側も動員を増やす方法を考えなければならないと感じた。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>アンケートをざっと見ると、君津商業高校に関することが非常に多いが、確かにすばらしかった。君津商業高校の吹奏楽部は、議会で議場コンサートをやっているが、それを今度は生涯学習推進大会で紹介したということはよかったと思う。オープニングとしては、今までやった中で一番良かったのではないかな。地元の学校であるし、若い人たちがいるということが活力になったのではないかなと思う。よかったので、次回の参考にさせていただきたい。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>今、黒岩副委員長がおっしゃられたが、大舞台を踏むことは大事なのではないか。例えば、議場という神聖な場所で、程よい緊張感の中で演奏したり、生徒が話していたが、ディズニーシーでも演奏をしたそうで、そういった大舞台を踏むと人に聴いてもらう喜びが出てくる。だから、この大会は、ただ単に聞いて学ぶという面だけでなく、育てるという面も加わってくると思う。今後は、そういった育てるという面も含めてやってもらいたいと思う。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>以上で報告(1)を終わる。</p> <p>続いて報告(2)教育委員会表彰について、事務局から報告願いたい。</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>報告(2)教育委員会表彰について、御報告させていただく。</p> <p>平成22年度富津市教育委員会表彰については、第11回富津市生涯学習推進大会に先立ち、富津公民館ホールにおいて、12時45分から表彰式を行った。この表彰は、富津市教育委員会表彰</p>

<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>規程第1条に基づき、富津市における教育、スポーツ、学術又は文化の振興に関し、特に功績の顕著であった個人又は団体を表彰するものである。平成22年度の表彰者は、善行表彰団体として、富津中学校体育振興のため、バスケットゴール一式を寄贈していただいた有限会社大滝商会様、また、体育功労表彰として、スポーツの各種大会において優秀な成績を収められた方々11名と、団体では、富津中学校女子柔道部と佐貫清心会の2団体が表彰された。表彰された方々には、心からお祝いを申し上げますとともに、より一層の精進をいただきたいと願っている。</p> <p>また、平成22年度富津市表彰式については、2月9日午前10時から市役所1階大会議室で表彰式が行われた。これについては、資料のとおりであるので、御覧いただきたい。</p> <p>これについて、御質問等はあるか。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>以前は、高校生の表彰もあったような気がするが、それはなくなったのか、該当がなかったのか、伺いたい。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>教育委員会表彰の資料を開いていただくと、体育功労の個人の部で、なぎなたの高校生の部で、須山さんと武平さんが表彰を受けている。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>了解した。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>他にあるか。</p> <p>ないようなので、続いて会議次第5議題に移る。議題(1)富津市生涯学習推進計画について、事務局から説明願いたい。</p>
<p>(事務局) 當眞主査</p>	<p>富津市生涯学習推進計画について、御報告したい。前回の会議において、生涯学習推進計画の案を提示した。その後、生涯学習推進協議会や職員からの意見を踏まえながら、修正を図った。</p> <p>また、1月4日から1月31日にかけて、パブリックコメントを実施したが、結果は0件であった。今後、職員の意見を踏まえ、</p>

<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>社会教育委員、生涯学習推進協議会委員からの意見を踏まえながら修正を図り、2月15日に課長級の委員による本部幹事会を開催し、2月23日の部長級の委員による本部会議において、最終的に富津市生涯学習推進計画を確定する手順となっている。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>これについて、意見等があればお願いしたい。</p> <p>午前中の生涯学習推進協議会会議でもお話ししたが、事務局で素案を作り、手直しをして、1月4日から31日まで4週間かけてパブリックコメントを実施した結果、0件であったということで、これが本当に市民に対して意見を求めたことになるだろうかと思った。形式上の手順なのではないかということ、午前中にお話しさせていただいた。</p> <p>細かくつくったものを渡されても、なかなか目を通さないし、行政に任せるといふ人もいるだろうし、中には無関心な人もいると思うので、もう一步踏み込んでいただきたいという話をした。</p> <p>もし、パブリックコメントをやるならば、期間を設定して、来る人を求めるのではなく、逆に前の段階で、各地区で説明会を開いて、概略的な説明をしてパブリックコメントを実施する形をとれば、意見が出てくるのではないかと思った。</p> <p>この生涯学習推進計画だけでなく、他にもパブリックコメントをかけなければならぬものが出てくると思うので、意見を言わせていただいた。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>ないようなので、会議次第6その他についてだが、事務局から何かあるか。</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>現在の社会教育委員の皆さんの任期は、平成21年4月1日から平成23年3月31日までとなっている。あと数か月で任期満了となるので、各選出団体の代表者の方々に推薦を依頼し、委員の推薦をいただき、次期委員の名簿を作成して会議を開きたい。任期満了の方も、途中で委員となられた方もいらっしゃるが、御</p>



<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>了承いただきたい。</p> <p>3月31日で任期が終了することなので、御了承願いたい。</p> <p>これは議題ではなく、私の聞いた話だが、給食費の滞納についての話で、飯野小学校の収納率が非常に高いということを知った。三富委員がいらっしゃるので、参考までにお訊きしたい。</p>
<p>三富委員</p>	<p>これには、いろいろな要素がからんでいると思う。地域性という問題もあるだろうし、地域の学校への支援という側面もあると思う。私は今大貫中学校だが、昨年までいた飯野小学校では、給食費は手集金という形で集めていた。各学級のPTAの役員の方に月に1回集まっていたいて、集金を行っていた。職員もそれをお手伝いするような形で集めていたので、多少遅れることはあっても、収納率はほぼ100パーセントであった。</p> <p>ただ、現在大貫中学校では、給食費の支払いが遅れるということはある。これは口座振込でやっているのだから、正確な数字は控えさせていただくが、給食費の支払いができない状況にある家庭もある。</p> <p>報道されている、子ども手当から給食費を引かせてもらうことが可能になる法案が通れば、学校としては集金事務が非常に助かる。そして、今お話ししたような振込ができないという家庭もなくなるのではないかと思うので、よい方法で解決されればと思っている。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>あるところから、給食費を故意に払わない親がいるという話を聞き、その話から飯野小学校は給食費の滞納を解決したという話になった。三富委員は、昨年まで飯野小学校の校長をなさっていたので、お訊きした。</p> <p>他に何かあるか。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>今の件についてお話したい。給食費は学校教育課が担当であるので、今手元に資料をもっているわけではないが、たまたま数年前に千葉県教育委員会にいた時に、学校給食の担当の課にいた。</p>

その時のことを考えると、富津市は給食費の収納率が非常に高い市である。現在も、収納率は99パーセントを超えているはずである。

確かに、お話にあったような人がいないわけではないが、先ほど話のあった飯野小学校の努力や、富津市の保護者の意識も都市部と違い、子どものためにかかるお金はしっかり払うという考えの方が大多数であるため、この収納率の高さにつながっていると思う。富津市については、学校給食の滞納が大きい問題になっているということはないし、担当課でも、たまたま滞納になっている家庭については、休日や夜間等に訪問して支払いをお願いしている。それに応じて支払う家庭もあるし、また、滞納している人が子ども手当を取りに来られた時に、給食費等の滞納があれば支払いをということをお願いしている。そういった形で、全体的に努力をしている。100パーセントではないから、問題がないわけではないが、新聞等で報道されるほどのひどさではない。それは本当に皆さんのおかげだと思う。

(議長)  
黒岩副委員長

富津市は、他町村と比べて収納率が高いのか。

(事務局)  
渡辺教育長

他の町村とは比べられない。富津市のデータはある。全県、全国の平均と比べると、かなり収納率が高いということである。

ただ、隣の君津市が何パーセントなのかというデータはないし、データをもらったとしても、公表するものではないので差し控えさせていただく。

(議長)  
黒岩副委員長

県下の中でも、収納率は上の方であるということか。

(事務局)  
渡辺教育長

そうである。そのための努力として、手集金などをしていただいている。手集金をするためには、毎月1回保護者に来てもらわなくてはならない。共働きの家庭も増えてきているので、それもなかなか難しいが、飯野小学校についてはPTAの方々が問題意識を持って努力をしてくださっているの、それが成果に表れて

	<p>いるのだと思う。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>他に何かあるか。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>任期についてだが、委員は各種団体から推薦されてくる人たちなので、必ず入れ替わりがある。できれば、何年か長くやってもらったほうが、社会教育委員とはどんなもので、やるべきことは何かはわかってくるが、現実には各団体からの選出であるので仕方がないと思う。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>先ほどの話だが、佐久間委員のおっしゃるとおり、ただ計画をつくってやるだけでは、おざなりになってしまう。面倒だからあまりやらないのだと思うが、広く声を聞くことはよいことだ。もっと区長会などへ行って話をすればよいと思う。総会などがあるので、そういう機会を利用すればよい。実は、私も新しいテーマについてよく説明会をしたりしてやっている。そうするほうが、浸透すると思う。おそらく、通り一遍の方法では答えは出ない。よほど関心がないければ、だめだと思う。</p>
<p>柳川委員</p>	<p>意見がないというのは、その通りだと思う。私も PTA 連絡協議会の会長をやらせていただいて、初めてこの社会教育委員になっていろいろと会議に出席してきたが、最後になってきてやっと内容がわかってきたところがある。</p> <p>何かをやったことに対しては、自分も参加しているので何かを発言できる。しかし、今までの蓄積やこれからやっていく計画などは1年やっただけでは分からない。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>そうすると、継続して何年か委員をやっている私たちは、頑張らなければならないと思う。</p>
<p>(議長) 黒岩副委員長</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>他に意見もないようなので、これで本日の議題をすべて終了する。</p>

(事務局)  
進藤主幹

(第3回富津市社会教育委員会議の閉会を宣言)